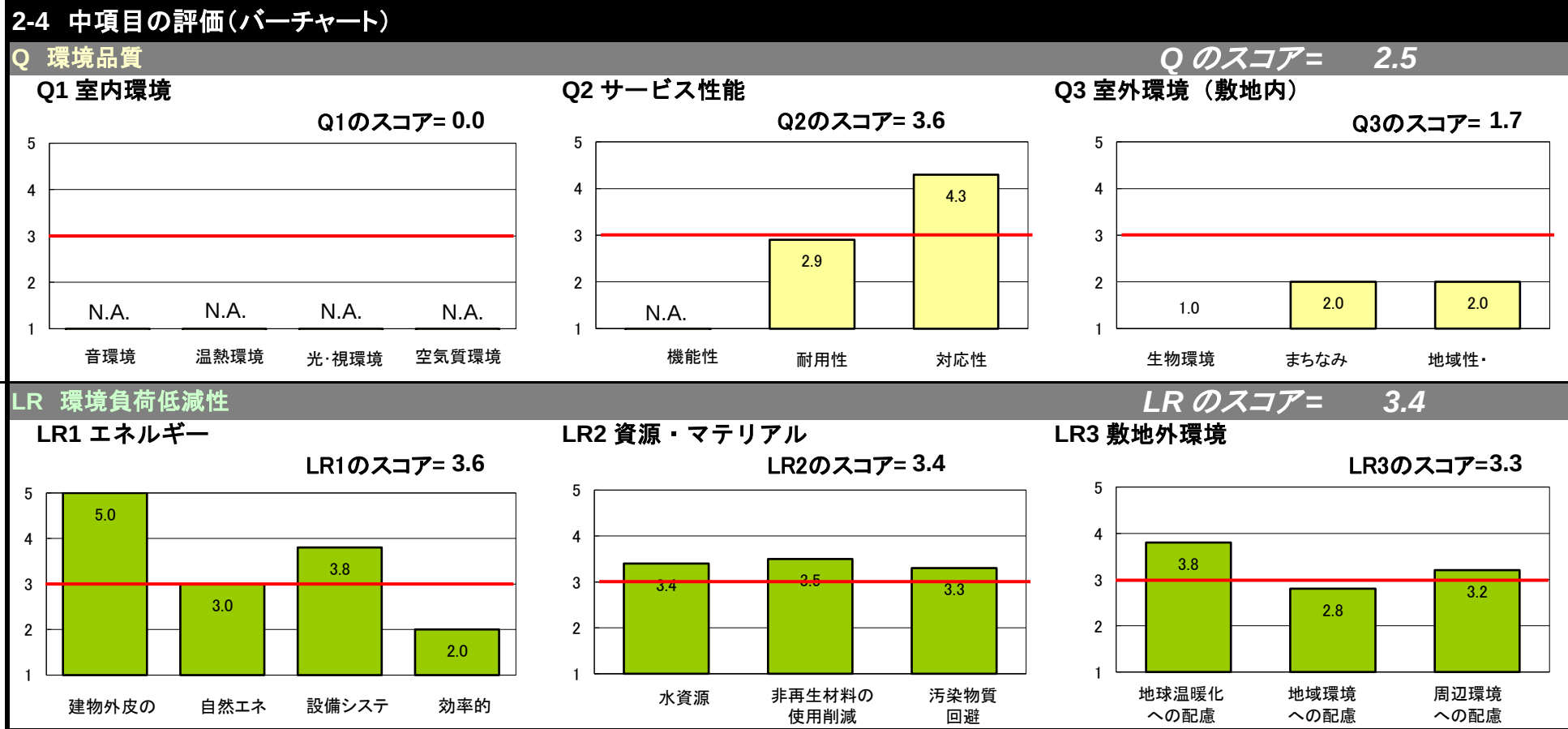
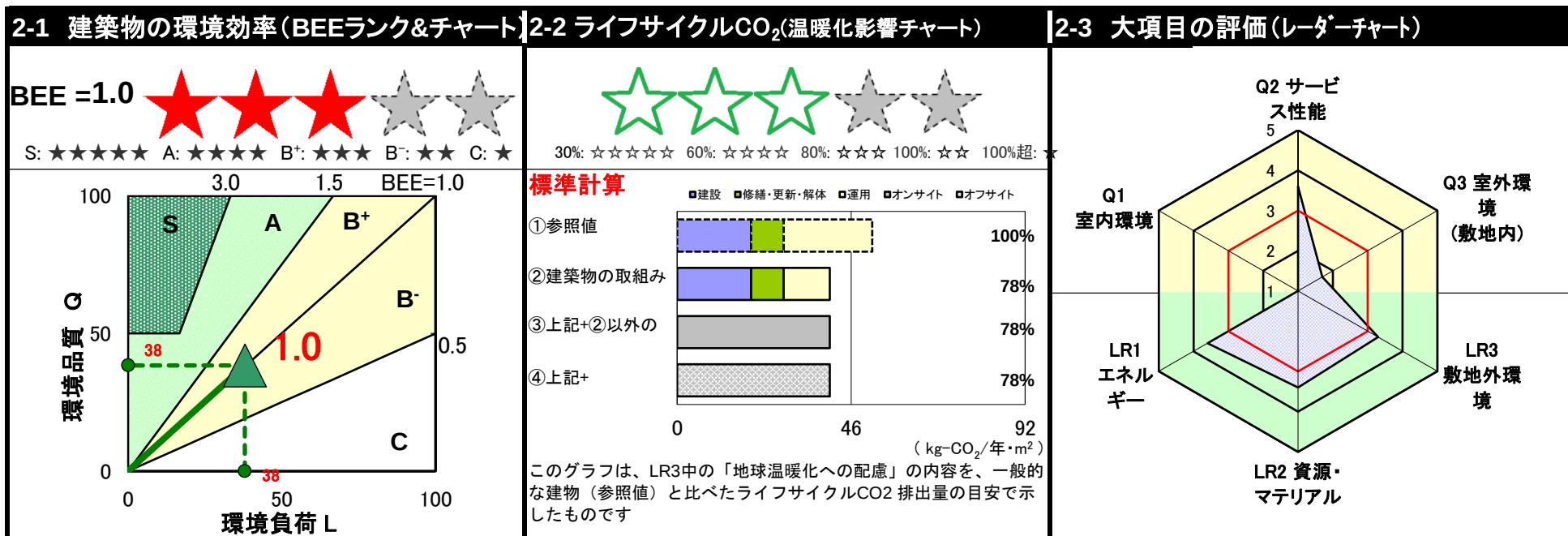


1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	(仮称)DPL相模原Ⅱ新築工事	階数	地上5F	
建設地	神奈川県相模原市中央区南橋本4丁目79番1ほか18筆	構造	S造	
用途地域	工業専用地域、防火地域指定なし	平均居住人員	757 人	
地域区分	6地域	年間使用時間	1,920 時間/年(想定値)	
建物用途	工場,	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2027年7月 予定	評価の実施日	2025年4月22日	
敷地面積	33,568 m ²	作成者	大和ハウス工業株式会社南関東建築一級建築士事務所	
建築面積	19,156 m ²	確認日	2025年5月12日	
延床面積	77,731 m ²	確認者	大和ハウス工業株式会社南関東建築一級建築士事務所	



3 設計上の配慮事項		
総合	南橋本駅から歩きで約10分の工業専用地域にS造、5Fの工場を計画した。	その他 特になし。
Q1 室内環境 評価対象外	Q2 サービス性能 階高:3.9m以上。 [壁長さ比率] <0.1。	Q3 室外環境 (敷地内) 特になし。
LR1 エネルギー BPI _m =0.68、 BEI _m =0.52、LED 照明設備を導入。	LR2 資源・マテリアル 節水コマなどに加えて、節水型便器も採用している。	LR3 敷地外環境 光害対策ガイドラインと広告物照明の扱いの全ての配慮事項を満たしている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される